

## 自然環境保護・ 保全事業

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に受け継いでいくために、さまざまな団体とパートナーシップを組み保護・保全活動を推進するとともに、東京都と大分県で自然学校を運営しています。

### 森林の保護・保全活動

低炭素社会を構築するために、地球温暖化をもたらす温室効果ガスのひとつである二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を削減する活動として森林の保護・保全活動に取り組んでいます。

#### ▶森林保全プロジェクト

健全な森林づくりに取り組むことで、豊かな森で育まれる水により、川にも海にも栄養が行き届きます。セブン・イレブン記念財団では、「森も海も蘇る」森づくりに取り組んでいます。

#### 「セブンの森」づくり

日本は農耕民族であり、木を植えて木を育て、木を切って使い、また植えるという木を循環させる文化を持っています。木が育つには何十年もかかり、その間の植樹や下刈り、間伐などの保育を人が計画的に行きつて森を守ってきました。

「セブンの森」づくりは、全国の森林組合、NPO法人などと3年～6年の協定を結び、植樹から下刈り・間伐までの森の保育活動を行っています。間伐材は募金箱や商品パッケージ、建築資材などに積極的に使うなど、木材を循環させていくことで森林保全と地球温暖化防止につながっています。



植樹 (福岡セブンの森)



夏場の下刈り (栃木セブンの森)



間伐 (広島セブンの森)



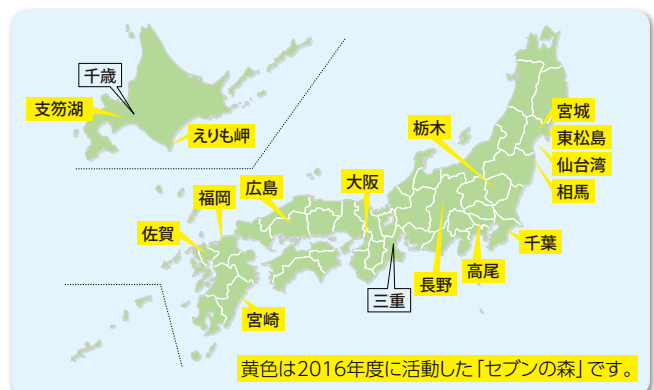
竹林整備 (佐賀セブンの森)

植樹した苗が成長するには、光と水が必要です。他の草木より大きく生長するまでの数年間は、下刈りが必要です。木が混みすぎると光が射さなくなり生育が悪くなるため、一部を抜き伐る間伐をして健全な森林にします。竹は地下茎で繁殖し、周囲の樹木を圧迫していき、樹木が枯れる原因になります。放置林は大きな問題になっています。

#### 2016年度 「セブンの森」づくり活動

全国17カ所で植樹・下刈り・竹林整備などを実施

計**23**回 延べ**1,571**名 **11,310**本



森づくり	場所	活動日
えりも岬セブンの森	北海道えりも町	6/9
支笏湖セブンの森	北海道千歳市	5/21、7/2
宮城セブンの森	宮城県大崎市鳴子温泉 玉ノ木	4/23・4/24、 9/4、11/12
東松島セブンの森	宮城県東松島市浜市地区	5/7
仙台湾セブンの森	宮城県名取市下増田台林	6/11
相馬セブンの森	福島県相馬市磯部大洲	10/2
栃木セブンの森	栃木県矢板市長井	6/25
千葉セブンの森	千葉県富津市	10/15
高尾セブンの森	東京都八王子市川町	5/26、7/28、 11/10、2/23
長野セブンの森	長野県埴科郡坂城町	6/4、10/1
大阪セブンの森	大阪府豊能郡能勢町	3/12
広島セブンの森	広島県東広島市八本松町	4/23、11/5
福岡セブンの森	福岡市早良区曲渕	11/12
佐賀セブンの森	佐賀県三養基郡基山町	4/2
宮崎セブンの森	宮崎県日南市北郷町	6/18

#### これまでの「セブンの森」づくり活動結果 (2006年度～2016年度)

活動**99**回 延べ参加人数**7,786**名 植樹**70,380**本

## ▶海の保全プロジェクト

### 東京湾再生官民連携フォーラムと大感謝祭

官民が一体となって東京湾の再生に取り組む組織「東京湾再生官民連携フォーラム」の運営を2013年の設立より協定を結び支援しています。10月21日～23日、神奈川県横浜赤レンガ倉庫でフォーラムの総会と「東京湾大感謝祭2016」を開催しました。



大感謝祭

## 生物多様性保全活動

### ▶霧多布湿原保全活動

北海道浜中町の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、霧多布湿原の民有地などを取得し、保全していくナショナルトラスト活動を行っています。2016年度は約15.8ha取得し、保全湿地は累計で約461.2haとなりました。



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地  
撮影：ノーザンビレッジ 北村康春

### 海の森づくり「東京湾UMIプロジェクト」

水質浄化やCO<sub>2</sub>を減らすアマモを増やして、東京湾を豊かな海に再生する海の森づくりに取り組んでいます。

5月28日に、神奈川県「横浜海の公園」で、セブン-イレブン加盟店24店から33名、本部社員52名、グループ社員23名にNPO法人海辺つくり研究会と国交省から9名も加わって117名でアマモの花枝を採集しました。



アマモの花枝を採集

### ▶日光杉並木保護活動

栃木県の「日光杉並木街道」は、日本で唯一の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化財です。日光杉並木を保全するために、生育の妨げとなっている支障木の伐採など、樹勢回復事業を2016年度も支援しました。



樹齢390年を超える日光杉並木街道

## 高尾の森自然学校

2015年4月10日に開校した「高尾の森自然学校」は、東京都が初めて民間団体と拠点施設を構えて取り組む協働事業です。2年目となる2016年度は、東京都八王子市川町の約26.5haの都所有の森をフィールドに、「野鳥観察会」「森林ボランティア体験」「草木の観察会」「クラフトワーク」などのプログラムを57回開催し、延べ436名が参加しました。



生きものたちの痕跡探しプログラム



草木染めワークショップ



森林ボランティア入門



草木の観察会

## 九重ふるさと自然学校

大分県玖珠郡九重町で運営する九重ふるさと自然学校は、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を基本理念に、「くじゅうの自然保護・保全」と「トキもすめる里づくり」の活動に取り組んでいます。「生きもの育む自然共生型田んぼづくり」は、国連生物多様性の10年日本委員会連携事業に認定されています。

7月から9月にかけて、「筑後川」をテーマに「ふるさと探検クラブ」を九重町教育委員会と共同主催し、4回活動しました。九重自然教室「さとばる」で行っている生物多様性の保全のための森林づくり事業は、2016年度森林づくり提案事業（大分県森林環境税活用事業）として採択されました。



ふるさと探検クラブのキャンプでは佐賀県鹿島干潟で生きものを観察



森林づくりでは苗に食害防止筒を設置



生きもの育む自然共生型田んぼづくり